

## 友好都市・中国 天津市

### 友好都市プロフィール

中華人民共和国 天津市

○提携年月日 昭和55(1980)年10月28日

○人口 約1,373万人 ○面積 11,917 km<sup>2</sup>

○市長 張工氏(2022年7月～)

○市制施行日 1404年

○市の概要

天津市は、北京、上海、重慶と並ぶ4つの中央直轄市(省、自治区と同格)の一つで、華北平原の東北部に位置している。天津の名は、「天子の渡し場」の意味から名づけられた名称で、明・清時代から首都北京の海への玄関口となっている。今では、商工業都市として、また、中国北部最大の港湾都市として、繁栄している。



### 提携に至る経緯

昭和53年3月、四日市市は中国の都市との友好都市提携、特に石油化学や環境問題への関心が強い天津市との友好都市提携を希望し、その旨を中日友好協会へ伝えた。

当時から四日市市は、国際的な港と伝統的な産業、そして大規模な石油化学工業などがある日本有数の工業都市として栄えていた。一方、中国天津市も中国最大級の港を持ち、油田を中心に成長を遂げている産業都市であった。

規模は違うものの似たような産業構造をもつ四日市市・天津市が友好都市提携を結ぶことは、両市にとって有意義であるとして、昭和55年10月28日に天津市において、両市長が友好提携書に調印を行った。



### これまでの主な交流

- ① 天津市技術研修生(環境保全、下水処理)3人が6か月間四日市市で研修(昭和59年～60年)
- ② 日中友好青年の船「よっかいち号」天津市訪問(昭和63年)
- ③ 天津市の環境保護担当者を対象に環境研修を実施(平成5年～7年、10年～)
- ④ 市立四日市病院と天津中医学院第一付属病院が友好病院関係を提携(平成6年)
- ⑤ 市制100周年記念事業(平成9年)
  - ・「天津の歴史と文化展」を四日市市立博物館で開催

- ⑥ 天津展の開催（平成 10 年）
- ⑦ 四日市市の中学生（各校代表 24 人）が天津市などを訪問（平成 11 年、13 年）
- ⑧ 地球環境塾（学生環境サミット）  
平成 20 年に四日市市制 111 周年記念の一環として初めて開催。夏期に約 1 週間、姉妹・友好都市から学生を招いて、本市の学生とともに地球環境問題について意見交換し、相互理解を深める。
- ⑨ 四日市・天津販路開拓ツアー（ビジネス商談会と四日市フェア）の開催（平成 25 年）  
経済交流の一環として、四日市・天津経済交流センターと天津市工商業連合会が共催で、天津市において両市の企業との商談会と四日市の特産品販売を開催。
- ⑩ サッカー、ハンドボール、バスケットボール、卓球、マラソンなどのスポーツ交流
- ⑪ 書道、写真、音楽などの文化交流
- ⑫ 青年代表団や市代表団の相互訪問
- ⑬ その他周年・交流行事  
友好都市提携 40 周年（2020 年）  
新型コロナウイルス感染症の影響により、公式代表団の相互派遣をはじめとした記念事業のほとんどが実施できなかったが、第 10 回郷土が誇る芸能大会での天津工業大学芸縁民族楽団のビデオ出演や、天津市人民政府等主催「第 4 回世界知能大会」での市長のビデオ出演などの交流を行った。また、感染対策のための支援物資の相互寄贈や両市の間で友好都市提携 40 周年記念宣言書を交わすなどにより、長きにわたる友好を確認した。

## その他

本市は平成 5 年から、(公財)国際環境技術移転センター (ICETT) を通じて、環境問題が顕在化している発展途上国などの諸外国へ環境保全技術を国際貢献の一環として移転してきている。天津市へも環境協力の一環として、市の環境担当行政官や技術者を対象に、人材育成研修を実施してきた。

平成 13 年からは、より多くの担当者へ環境保全技術を伝えるため、天津市にて環境保全セミナーも開催している。また、研修効果を更に高めるため、セミナー参加者の中から選抜した 6 人を四日市市へ招聘し受け入れ研修を実施している。

平成 19 年 3 月には、このような本市と天津市との環境交流事業が、自治体や国際交流協会等の民間非営利団体が行う姉妹交流のうち、創意と工夫に富み、地域の国際化に貢献している取り組みとの評価を受け、姉妹自治体交流表彰において、第 1 回総務大臣賞を受賞した。

